くろつち便り

今月の内容

曽於支部お別れ会(2/28)／野草折々82(ﾔﾏﾂﾊﾞｷ)／共助会ＧＧ大会(2/15)／Series学校現場から㊲／ごてれつの独り言㊸／総会・交流会(6/20)／作品展／意見広告／会費納入／冬の時代をどう打破・・・／次回の金曜集会は4/3日 17:00～

↑会報QRｺｰﾄﾞ

共助会ＧＧ大会

２月１５日、心配された天気でしたが矢野事務局長の判断よろしく初夏みたいな上天気の中、ＧＧ大会が開催されました。

１３時、予定通りに開会式。

鬼ヶ原運営委員長

行事など現場も色々変わってきています。月末また寒くなるようなのでお互い健康に気を付けてまた来年会えたらなあと思っています。

１チーム４～５名の１０チーム。開会式の後、それぞれのスタート地点に散っていき、笛の合図で一斉に開始しました。

最初は静かなスタートでしたが、次第に熱を帯びてきました。ホールインワンが出たんでしょうか、時折ワーッと歓声も聞こえます。

飯山実行委員長

年々歳々人同じからず、年取って足腰が弱くなったけどそうも言っておられん。高市総理は早くやめてもらわにゃ困る。

さすがに手厳しい挨拶です。

最後の一打を慎重な時綱さん、久しぶりの参加(?)なのに年齢を感じさせない。スコアもほぼ平均値５１打。すごい！

途中休憩をはさんで２ラウンドで終了。奇跡的な初ホールインワンが生まれたり、曽於から４名の参加があったりと、今大会も色んなドラマがありました。

特に現職から３名の参加があったことです。

（３頁に続く）

学校現場から シリーズ その37

臨時的任用教員…パート⑧

国見小　関下俊郎

３学期も後半に入ると、いよいよ忙しさもピークになる。６年生担任として年度末の業務に加え卒業学年としての重圧ものしかかる。しかも、５・６年の複式学級となると卒業学年だけに力を入れる…と言う訳にはいかずストレスも徐々にのしかかってくる。

せめて卒業式を無事成功させることができればいいのだが、こんなときに余計なことでエネルギーを使わせるのか！儀式係から校長が「卒業式の退場曲が決まったら教えて欲しいということでした。」と…。

退場曲は毎年担任の方で決めることになっているようで、今回も子どもたちと選んだ曲を校長に伝えた。すると「曲には歌詞を入れずにピアノだけにして欲しい。」と…「はあ～っ？」と思わず声が出てしまった。「この曲は歌詞なしでは意味がないです。だから歌詞付きで曲を流します。」と言って校長室をでた。「前任校ではそうだったかもしれないがここはK小学校だ。」と思いながら…。

（ちなみに退場曲は川嶋あいさんの「旅たちの日に」です。）余計なエネルギーを使わせるのは卒業式の退場曲だけのことではない。

いよいよ教育課程編成作業も全職員で分担してとりかかっているのだが、私にとってはどうしても超えられない壁がある。それは、グーグルの壁だ。前年度までのデータをいつものように編集できないのだ。それでもなんとか操作を教えてもらってやる。しかし、２つ目の壁が立ちはだかるのだ。それはよくある学校長の「こだわり」である。内容的にそんなに違いはない表現を、変えなければならない、または変えてみようというこだわりである。学校教育目標がほんのちょっと変わっただけで全体計画は各領域全て変更しなければならない。さらに、「子ども像」など大幅に変更されると厳しいものがある。そもそも「学校教育目標」とか「子ども像」「教師像」など意識して見るのもこの時期だけかもしれない。

慣れたパソコンでの編集なら…そうでもないのかもしれない。

5/3南日本新聞 護憲意見広告

かごしま九条の会が毎年実施している南日本新聞への「９条を守り活かそう」の意見広告の募集中。昨今の改憲の動きは何としても阻止したい。鎌田慧（かまたさとし）の言を借りれば「叛逆老人よ、立ち上がれ。」是非多数の参加を！

個人１口　千円以上
団体　５千円以上
振込締切　４月１５日(水)
（個々人で対処される場合は振込手数料200円余は会負担です。その会負担を減らすためにも）くろつち会会員の分は**一括して郵便振込で**送りたいと思います。何らかの方法で樋園光子まで届けてください。

住所　鹿屋市新川町180-4（ヨってミて イイとこヨイとこ）
TELFax 0994 -４３　-１１４１

鎌田慧87歳…ルポライター。著書「叛逆老人は死なず」など。

ふつくさ言うん とてれつの独り言 ㊸

◆ふるさとは遠きにありて

僕の大きな誤解に違いないが、英文学者の外山滋比古氏の「思考の整理学」は受験生や学生向けだと思うと読む気がしない。だが(これも大きな誤解だろうが)「忘却の整理学」(筑間書房)は年寄り向けのようだ、手に取ってみたくなった。

氏によると、ふるさとが懐かしいのは忘却によって美化されているからで、別の箇所では「時は醜いところはそっと消す」(時の老化作用)とも言っている。成る程「懐旧・懐古」という言葉があるが、時間的距離・地理的距離と深く関わっているわけだ。

さて、昨年暮れに飛び込んだ祁答院の世界一郷水車解体のニュースに複雑な思いが去来した。1991年に建設されてから30数年経ち、木造故に老朽化が進んで解体止む無しだったらしい。祁答院は僕の母の生家があり特に郷水車は父母が晩年を過ごした地区にあったので、僕にとってもふるさとで、懐かしい思いが詰まっている。父母と一緒に郷水車近くのソーメン流しに何回か足を運んだりしたものだ。

この水車について変てこな体験がある。いつ頃のことだったか、天草へのフェリー乗り場三角港（みすみ）から南へ時間つぶしのドライブ中のこと、ふと面白い案内板を目にした。「日本一郷水車」とあるのだ。同乗の妻と「これは日本一で、祁答院にあるのは世界一だそうだ。」と言って笑った。

時間はある。折角だから行ってみようと、そのまま車を走らせた。暫く行くと、道路からちょっと入り込んだところにでっかい郷水車があって、祁答院のものと遜色がない。今はどうなっているのか知る由もないが、日本一と世界一、矛盾した話だ。まあ建設当時は矛盾はなかったんだろう。

ところで、祁答院の郷水車解体には、地元の反対の声はなかったようで、残念だ。外山氏が言うように、地元に住んでいる人にとっては懐かしさはない。解体は合理的に決定されたわけだ。懐かしさと合理性とは氷炭相容れずで、地元の住人は、懐かしさを合理性で推し量ることなど出来ないのだろう。仕方ない。

氏がいろんなところで引き合いにしている有名な一節、

ふるさとは遠きにありて思ふもの(室生犀星「小景異情」の一節)

が合点できる。

(2010年11月4日　世界一郷水車→)

野草折々-82-

飯山春男さん紹介の身近な植物シリーズ

ヤブツバキ
(ツバキ科)

日本原産の植物で、種子から油がとれる。

２０２６年１月２０日　川西町

共助会GG大会

（１頁からの続き）初参加の現職３名にお聞きすると「とても楽しかったです。来年を見据えて職員体育で組んだりしたいしスティックの購入も事務の先生に相談してみようかな」と話して、来年参加の意欲を表明しました。

一松事務局次長

混沌とした世の中ですが、２、３、５年後もこうしてゴルフができる平和な世の中になってほしいと思います。皆さんも健康でいてください。また来年楽しくできたらと思います。

和やかな雰囲気の中、大会終了。皆さん、ご苦労様。（樋園）

結果は次の通り。（敬称略）

優勝	志村美津江	３９打
準優勝	市之瀬治美	４１打
３位	森　轄隆	４２打
４位	岩山益男	４２打
５位	岩山淳子	４４打
ＢＢ賞	岩元はる奈	６１打

ホールインワン賞
岩山淳子、米良晶子
野口幸四郎、樋園光子
志村美津江、持留昭博
市之瀬治美

（共助会ルールで、打数が同じときは、ホールインワンの数、それも同じなら２打の数、年齢などで決定する）

曽於教育会館お別れ会

2026年2月28日（土）に曽於教育会館のお別れ会が開催されました。この日は、午前中から有志の方々が教育会館内の掃除を行いました。想像を絶する重要書類の山…しばし作業の手が止まって書類に目を通し、思い出に浸る時間もありました。

支部の掃除

午後4時半から受付開始。40名を越える人数で賑やかなスタートになりました。緑の山河斉唱では、急遽退女教の大山高枝さんがピアノを弾いてくださいました。生演奏をバックに元気よく歌いました。

緑の山河斉唱

退職者の挨拶

【香月小　新留祐子さん】

・3月で一旦辞めますが、4月からまた大隅で働く予定・大隅は温かい場所。ここに来て元気をもらいました。
・組合にいたから40年も仕事ができました。
・仲間のみんなに支えられてやってきました。感謝しかありません。
・4月からまた組合に入ります。よろしくお願いします。

【末吉小　長友利江さん】

・61年度採用でした。香月小でモラハラを受けました。よそ者扱いされたことも…、しかし「よーし」という気持ちで40年間頑張りました。
・国分小で、有馬先生と同じ学年になり（組合に）スカウトされました。
・種子島にいた時は、高校生の息子のために毎週飛行機に乗りました。
・組合は支え合うからいいんだよと同僚たちに広めています。たくさんのいい方々に恵まれました。

【書記　鎌石栄子さん】

・飯山支部長が面接…顔も見ずに「いっき来てくいやいよな」と言われました。
・定期大会があって最初から滅茶苦茶忙しかったです。
・ここには先生と呼ばれる人たちが毎日遊びに来ました。泣いたり笑ったり…ここは、かけ込み寺なんだと思いました。終わりが来るのが信じられません。
・みなさん、有り難うございました。

歓談

「曽於教育会館の思い出」のDVDを鑑賞してから、しばし歓談の時間。昔話に花が咲きました。最後は、組合歌を歌い団結ガンバローでお別れの会がお開きになりました。曽於支部または、曽於地域協議会で培った経験を活かして平和を守る活動を続けていってほしいと思う事でした。（次頁に続く）

歓談中

曽於教育会館お別れ会（前頁の続き）

記念写真（撮影時間が遅くなり多数の方が帰宅）

進行　野津有人さん

実行委員長　長田さん

支部長　谷口さん

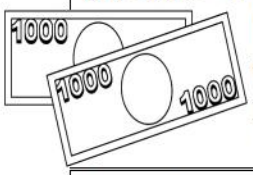
鹿教祖委員長　中川路さん

（報告及び写真　山下耕平）

6月くろつち会会費納入月間

以前６月を会費納入月間にしようと決めました。総会(6/20)の受付で納入してください。

総会に出席できない方は、会費を各地域の手配り人に預けていただくか、ご自分で支部に持って行っていただくかしてください。支部は一人一人だと、事務作業が大変らしいので、できるだけまとめてもってきてほしいとのこと。但しご自分で持って行かれる場合は、平原さんが不在の場合もあるので、事前に連絡を取って下さい。



（支部TEL　４３－２２１２）

会費は次の通りです。

退教協　　千円、

くろつち会　千円

合計　２０００円です。

（女性部は２８００円です。）

総会・交流会

６月２０日は、くろつち会総会・交流会が計画されています。

会場　千成本店

受付　１０時２０分

詳細は別途プリントで。

作品展

コロナ禍で中断していた作品展を計画中です。

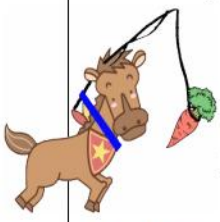
予定　１１月６～１０日

イオンかのや　３階

是非作品を温めておいてください。

冬の時代をどう打破するか

総理就任後の高市は執務室でずっと「いつ解散したらいいか」ということを事務方に分析させていたんだろう。そして解散。選挙結果は恐らく戦後最悪の結果だ。目先のことだけ考えることを鼻先思案とか鼻先分別というが、国民が消費税や当面の暮らしなど目先の課題にだけ目を奪われ、憲法問題や軍事費問題など将来に関わる課題に目を瞑った結果だろう。支持率の高さは初の女性総理ということで浮いたネット右翼のＳＮＳや大衆心理の影響もあるんだろう。分析が急がれる。



冬の時代の始まりが中曽根～安倍なら安倍崇拝者の高市政権は暗黒時代の始まりになるかもしれないという危惧がある。

ところでファシズム下の暗黒時代、大正デモクラシーの流れを汲む長谷川如是閑（にょぜかん）（本名，万次郎）というジャーナリストがいたそうだ。閑というのは「ひま」の他に、心静か、のどか、平安などの意だ。雅号「如是閑」が「閑たるやかくの如し」（?）というのだから、飄飄（ひょうひょう）として何事にも怯まず動じず悠然たる人物像を浮かべてしまう。彼の著作(1920)の中に、

・如何に人民を国家に忠誠ならしめるかという問題よりも、<u>如何に国家を人民に忠実ならしむべきか</u>（が大事）（傍線，樋園）

というのがある。今では当たり前（?）だが当時としては思い切った発言だったと思う。（リベラル派では当たり前でも、そう考えない人たちもいるのは事実だ。）

高市政権下で憲法改悪の歯止めが効かず改悪が急ピッチで進む恐れがある。９条の理念がないがしろにされ、軍隊組織が編成されていくことを考えると、結果、忠君愛国、即ち「人民を国家に忠誠ならしめる」ようになる。

如是閑（にょぜかん）は愛国的精神は肯定するが、「お国のため」というのは「人を愚にするというよりも自らを愚にした話だ」と述べて真っ向否定している（「国家の進化と愛国的精神」1920）。つまり歪んだ「愛国心」だ。

だが憲法改悪は歪んだ方へ進むのは必定。「愚にした話」は過去のものではなくなってくる。

先日ある会で眞島さんが「（どんな状況下になろうと）教え子を再び戦場に送らない、という反戦の考えに基軸を置くことが大切」みたいなことを述べられたが、この言に立ち返り、何としても暗黒時代は阻止しなければならない。（樋園）